

高齢期保健看護学特論	岩 根 直美 教授
Advanced Gerontological Health Nursing	橋 爪 洋 教授
1 年次前期・選択	服 部 園 美 非常勤講師
2 単位・30 時間	藤 本 由美子 非常勤講師
	山 本 明 弘 非常勤講師

【概要・目標】

高齢期にある人々の集団あるいは個人への健康支援に向けて論点を整理し、高齢期にある人々の健康の保持・増進や生活支援方法の開発・推進を目指す人材に必須の基礎的考え方や視点として、高齢者・その家族のセルフケア能力を高め、施設入所時における対応あるいは認知症患者への対応など、その人らしく生活できるように支援する方法を、最新のエビデンスを多角的に分析しながら探究する。

【授業内容のスケジュール】

	(担当)
1) 高齢期保健看護学の基本概念	岩根
2) 高齢期保健看護学における一次予防(1) (地域の保健・医療・福祉システム)	服部
3) 高齢期保健看護学における一次予防(2) (認知機能低下の早期発見とその予防)	服部
4) 高齢期保健看護学における二次予防(1) (認知機能の維持・改善にむけた多角的アプローチ)	服部
5) 高齢期保健看護学における二次予防(2) (ロコモティブシンドロームとその予防) (演習)	橋爪
6) 高齢期保健看護学における二次予防(3) (運動器加齢変性の疫学と臨床応用) (演習)	橋爪
7) 高齢期保健看護学における三次予防 (精神的リハビリテーション)	山本
8) 高齢者における薬物の影響	山本
9) 加齢による身体変化、皮膚の形態的特徴および生活背景と創傷の関連の多角的研究(I)	藤本
10) 加齢による身体変化、皮膚の形態的特徴および生活背景と創傷の関連の多角的研究(II)	藤本
11) 高齢者の創傷発生の予防および創傷の治癒促進の多角的探究(I)	藤本
12) 高齢者の創傷発生の予防および創傷の治癒促進の多角的探究(II)	藤本
13) 認知症高齢者・家族への支援における多角的探究	服部
14) 高齢期における健康支援のあり方や実践活動に関わる問題点についての分析と討議 (演習)	服部
15) まとめ (演習)	岩根

【評価】

資料収集、発表・討議 (30%) とレポート (70%) により総合的に評価する。

【教科書】

必要に応じて提示する。

【推薦参考図書】

必要に応じて提示する。

【その他】

演習は学生を主体とするプレゼンテーション及びディスカッションを行う